



沖縄県サンゴ礁保全再生事業
成果発表地域イベント

サンゴがわかる
ワークショップとトーク

無料だよ！

遊ぶ！作る！学ぶ！
イベント！

定員 30名！
定員になり次第、
締め切らせて
いただきます。
(要事前申し込み)

2017
1.14.土
13:00-16:00
会場：宮古島市総合博物館 研修室

聞く

先生！サンゴのこと
おしえて！

さんごトーク

14:00 ~ 14:45

NPO法人宮古島の環境ネットワーク 事務局長
春川 京子さん / 進行

沖縄県立芸術大学 准教授
藤田 喜久さん / 講演

宮古島サンゴ礁ガイドのなかまたち 顧問
梶原 健次さん / スライドショー

宮古島サンゴ礁ガイドのなかまたち 会長
友利 博一さん

沖縄県環境部自然保護課
事業担当者さん

サンゴと海のお話
たくさん聞いて
みよう



初代ミスウリン
砂川英依さん

沖縄県がこの7年間取りこんできたサンゴ礁の再生、
そして、もっとサンゴのことを伝えたい！
みんなで楽しく、つくって、学ぼう！

見る

海のぬいぐるみが海の事を教えてくれるよ

あーまんシアター

講師：鹿谷麻々さんと
あーまんシアターさん
13:05 ~ 13:35



作る

生きもののつながりって楽しい
いきものモビール作り

13:35 ~ 15:45
講師：ぐりもじゃ・サスケさん



いろいろな分野の先生達

同時開催

博物館資料展示

サンゴ礁保全パネル展示

エコアイランド宮古島
パネル展示



会場：宮古島市総合博物館

さんご
トーク

講師の皆様



海への思い、身近な海への親しみ方、
宮古の海、サンゴ礁の現在、
自然にやさしい暮らしのヒントをお話しします。

海外での
エコツアーの経歴も

NPO法人
宮古島海環境ネットワーク 事務局長

春川 京子 さん



東京都出身。

慶応大学卒業。外資系証券会社勤務後、オーストラリアで自然体験活動やエコツアーなどを学び、国内外でのエコツアーの企画運営やガイドを経て、2007 年末より宮古島へ。子どもや家族など少人数向けのエコツアーショップ、セブンシーズを経営し、スノーケリング、島内史跡めぐり、自然観察などを行う。2012 年に NPO 法人宮古島海環境ネットワークを設立し、事務局長として自然体験や環境教育、環境調査、ビーチクリーンアップの企画運営などに携わる。自然の大切さ、尊さを伝え、環境についての意識を高めることが、美しい海や自然、野生生物を次世代まで残すことにつながると考えている。

ウェブサイト econet.jpn.org

モデルとしてもテレビで大活躍

モデル
砂川 英依 さん



宮古島出身。

2011年に、沖縄の海にきれいなサンゴの森を蘇らせるための活動を紹介する、テレビ番組の初代イメージガール＝ミスワリンに就任。当時、ミスワリンへの意気込みを「今までは海が危険な状態であることをただ見ているだけだったので、これからは保全活動を一生懸命、精一杯頑張りたい」と話す。2年半のミスワリン活動中にサンゴを1000本植え付けた。タレント活動、レポーター、司会、女優としてテレビで活躍中。

ウェブサイト office-rhizome.jp/?ladies=sunakawa_hanae

ヤシガニの
保護活動も

沖縄県立芸術大学 准教授
藤田 喜久 さん



兵庫県生まれ。

琉球大学卒業。理学博士。
野外調査を土台とした甲殻類と棘皮動物をはじめとする海洋生物全般の分類・生態・発生を精力的に研究してきた。大学や専修学校等での講師歴を経て、現在は沖縄県立芸術大学に在籍し、分野をまたがった活動を展開中。同時に、幅広い視野で環境教育や漁業振興、自然保護など社会貢献活動の実績も多数。

個人ブログ blog.canpan.info/kani

普段は
タクシーの運転手さん

宮古島サンゴ礁ガイドのなかまたち
会長
友利 博一 さん



宮古島出身。

今から50～60年前、少年時代に新城の海で日々を過ごす。
20年間の本土生活の後、40代後半に宮古島に戻り、そこで砂浜やサンゴ礁のかつて見た光景との変化に驚き、サンゴ礁を知ってもらおう活動を始める。
「宮古島サンゴ礁ガイドのなかまたち」の代表として、2012年に沖縄県文化協会団体賞、2015年に沖縄県環境保全功労者表彰を受賞。

ウェブサイト www.geocities.jp/ris_miyako_islands/

市役所に勤務しながらサンゴ調査も

宮古島サンゴ礁ガイドのなかまたち
顧問
梶原 健次 さん



東京都出身。

東海大学卒業。水産学博士。
普段は、市役所に勤めており、これまで水産課や企画調整課、地域振興課、下水道課などで勤務。1992年より市民サークル「宮古島サンゴ礁ガイドのなかまたち」の顧問として、観察会などを通じたサンゴ礁啓発活動をほちほち行う。全国で実施されている、環境省事業のモニタリングサイト1000サンゴ礁調査の宮古島周辺海域を担当。

あーまん
シアター

海の授業もしています

しかたに自然案内 代表
あーまんシアター
鹿谷 麻夕 さん



東京都出身。
琉球大学卒業。2003年より「しかたに自然案内」を主宰し、沖縄の海の素晴らしさを人々に伝えるための自然観察や環境学習、環境保全活動を行っている。これまで、県内小・中・高校での出前講座や、沖縄大学、琉球大学での非常勤講師として、海の生き物の生態、海と人の暮らしとのつながり、海の問題について伝えている。2011年より、手作りのぬいぐるみで海の自然を紹介する「あーまんシアター」でも活動しています。

ウェブサイト www.shikatani.net

モバイル
作り

インドアだけど自然好き

イラストレーター
ぐりもじゃ・サスケ さん



沖縄県出身。
泳げないうちなーんちゅ。生きものとのふれあいは海岸で。沖縄でイラストを描くことを生業とし、琉球新報小中学生新聞「りゅうPON!」にて連載中の「いきラジ」イラストを担当するほか、生きもののイラスト・デザインを多く手がけています。

ウェブサイト www.gurimojya.com

ウェブサイトから
も申し込みます



定員30名！事前にお申し込みください。(5歳以上の子供～大人を対象としています。)

お問い合わせ先 電話 090-3196-9027 平日のみ 8:30～17:30
申し込み窓口

宮古島マリンリゾート協同組合 担当：シンムラ <https://www.facebook.com/sangofesta>